2022年度「学生大使」派遣プログラム
単位認定外・通年派遣型 【募集要項】

１．目的

本学の海外拠点校（ベトナム国家農業大学、ガジャマダ大学又は新モンゴル学園）に一定期間、「学生大使」として滞在し、日本語を教えながら日本文化や山形大学を紹介すると同時に、相手国文化・実情を学びつつ、現地学生との交流を通して「グローバル人材」に必要な能力を習得する。

※本プログラムは、令和４年度から新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための各国政府機関等により講じられた措置に対応しながら派遣を再開しました。変動する諸情勢を受けた本学の活動指針等を踏まえて実施することとなりますので、以下について十分理解した上で参加の申請をしてください。

２．プログラムの到達目標

①多様な価値観などに直に触れることにより、自らのそれらを対象化できるようになる。
②外国人とのコミュニケーション能力を向上させることができる。

３．応募条件

（１）学部学生及び大学院生
（２）派遣期間中、健康面を含めた必要な自己管理ができること。
（３）事前説明会、帰国後の報告会等へ参加できること。
（４）本プログラムの情報発信に協力できること。
（５）厚生労働省が外国からの入国者に求めている３回以上の新型コロナウイルスワクチン接種を終えていること。
（６）海外・異文化体験による意識の成長を測るアンケート調査（BEVI）を回答すること。

※留学生については、母国への派遣は認めない。

４．派遣先大学と支援内容

渡航補助金として、下記金額を派遣学生へ支給する。渡航補助金は帰国後必要書類の受領を確認し支給する。

派遣先大学	支援内容
ベトナム国家農業大学（ベトナム）	渡航補助金　　４万円
ガジャマダ大学（インドネシア）	渡航補助金　　４万円
新モンゴル学園（モンゴル）	渡航補助金　　４万円

※[1] 現地空港と宿泊先間の送迎は、山形大学において手配し、費用は各自が負担することになります。
※[2] 本年度の渡航補助金は、世界情勢による航空券代の高騰を踏まえ、過年度の派遣で補助を行った金額から一律１万円を増額しています。

※3 ベトナム国家農業大学、ガジャマダ大学については、派遣予定人数を各１０名（基盤共通教育後期集中講義履修者と合計した派遣人数）とする。

５．派遣期間

派遣先（ベトナム）：２０２３年2月２１日（火）　～　２０２３年3月６日（月）
派遣先（ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ）：２０２３年2月２１日（火）　～　２０２３年3月６日（月）
派遣先（モンゴル）：※現在調整中のため、実習期間（約２週間）が決定次第、参加者にお知らせします。

６．申請方法と期限

以下の期限までに、申請書類をエンロールメント・マネジメント部国際交流課又は所属する学部の学務担当へ提出すること。

【申請期限】

２０２２年１２月１４日（水）１７：００

【申請書類】

・申請書（別紙様式１）
・成績確認表（※令和４年度前期分までの成績を提出すること）
・パスポートの顔写真のページの写し
（※申請期限までに提出が難しい場合、パスポートの提出が出来次第提出すること。
航空券手配の都合上、１２月２０日までの提出が望ましい。）

※応募状況により、申請期限内であっても、募集を打ち切る場合がある。この場合、山形大学のホームページにて周知するので、随時確認をすること。

７．選考基準と結果通知

国際交流担当副学長が以下の基準により選考し、所属学部長等宛に通知する。
①グローバル社会をより深く理解する意欲のある者
②諸外国の大学生及び職員等と積極的に交流を図る意欲のある者
③本学のグローバル化促進に資する意欲のある者
なお、申込者数が派遣予定人数を超えた場合、上記①～③の結果により派遣者の選考を行う場合がある。

８．渡航前オリエンテーション

以下の日程でオリエンテーションを行うので必ず出席すること。
〇日時：２０２２年１２月２３日（金）
〇場所：基盤教育２号館２１１教室

９．報告

派遣期間終了後１週間以内に「山形大学生海外派遣プログラム実施報告書」を記入の上、エンロールメント・マネジメント部国際交流課に提出すること。

なお、この報告書は山形大学ホームページにて掲載し、次年度以降の派遣学生へ紹介する。

「山形大学生海外派遣プログラム実施報告書」記載事項

① 氏名・所属・学年
② 派遣先大学・派遣期間
③ 日本語教室での活動内容
④ 日本語教室以外での交流活動
⑤ 参加目標への達成度と努力した内容
⑥ プログラムに参加した感想
⑦ 今後の展望

※レポートは、Word ファイルにて作成し提出すること。
※実習期間の画像データ２～４枚（JPEG 形式）を添えて提出すること。

１０．渡航準備について

下記について、各自で準備するものとする。

（１）パスポート

パスポートについては、国ごとに必要有効残存期間が異なるので、自身で必ず事前に確認し、必要な準備をすること。

（２）航空券

現地との往復航空便を指定する。

渡航補助金の支給に際し、Ｅチケットの写しや領収書の原本が必要となるため、保管に気を付けること。

（３）海外旅行保険

必ず渡航日（住居から出発）から帰国日（住居に帰着）までの全期間を補償する「学生教育研究災害傷害保険付帯海外留学保険（付帯海外）」及び「危機管理システム J-TAS」への加入を必須とする（参考：2022 年の付帯海外保険料は約 4,500 円、J-TAS 費用は約 2,000 円）。

（４）予防接種

厚生労働省検疫所ホームページや外務省海外安全ホームページ等を参考に、必要な予防接種を受けること。

（５）外務省海外旅行登録（たびレジ）への登録

現地での危機管理情報の取得や緊急時の連絡のため、滞在先、滞在期間、渡航スケジュールが決定したら、外務省海外安全ホームページから、「たびレジ」に登録をすること。

（６）海外渡航・留学届

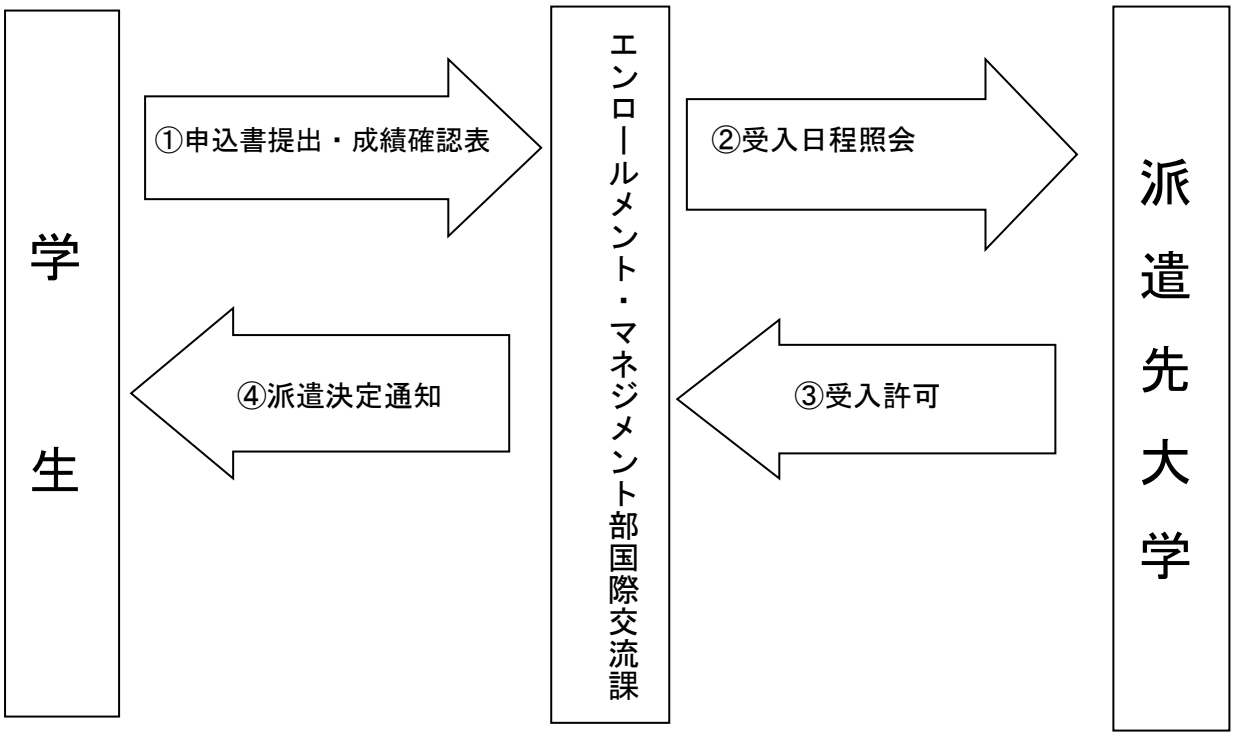
海外渡航・留学届を所属学部等の学務担当に必ず提出すること。エ、農学部の一年次生については、小白川キャンパス事務部運営支援課教育企画担当へ提出すること。

１１．注意事項

派遣の決定や日程調整に際し、エンロールメント・マネジメント部国際交流課からメール又は電話により連絡する場合があるので、連絡を受信できるように設定をしておくこと。

エンロールメント・マネジメント部国際交流課からの連絡に応答のない場合は、危機管理に問題があるため申請を取り消すものとする。

１３．申込みから派遣までの主な流れ



１３．その他

現地の情勢、状況の変化等により、希望した国及び期間の派遣ができない場合がある。

１４．問い合わせ先

エンロールメント・マネジメント部国際交流課（法人本部１階）
TEL：０２３－６２８－４９２６
FAX：０２３－６２８－４８４９
E-mail：yu-rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

派遣先大学紹介

＊ここに記載の金額は、２週間滞在した場合の平均であり、為替変動や渡航時期等によっても変化するものである。
＊費用の目安は、過去の参加者アンケートからおおよその金額を記載しているが、急激に進む円安と世界的な原油高の影響で、特に航空券（燃油サーチャージ）が値上がりしていることを踏まえて参考とすること。
＊ビザ情報については、変更になる場合があるので、各国大使館ＨＰ等で最新の情報を確認すること。

大学名	**ベトナム国立農業大学** Vietnam National University of Agriculture 通称　VNUA 
国名	ベトナム社会主義国
都市	ハノイ
公用語	ベトナム語
ビザ情報	15 日以内の滞在であればビザ不要、パスポートの残存期限 6 ヶ月以上。（前回のベトナム出国から 30 日以上経過している場合） 16 日以上の滞在の場合または 30 日以内に２回入国する場合は**必要**となる
宿泊施設	大学構内の国際学生寮またはゲストハウス
費用の目安	航空券：　約 11.4 万円　～ 送迎費：　5.2 千円　～　7.8 千円 宿泊費：　1 万円　～　1.6 万円（部屋のタイプによる） 滞在費：　1.9 万円　～　5.8 万円（上記の費用を除く食費・交遊費など）
治安・衛生等の現地状況	治安状況：人の多い観光地や混雑するバスの車内などでは、ひったくり・スリ・置き引きが頻発している。 シクロやバイクタクシーを利用し運転手から高額請求をされたという例が多く報告されている。 衛生状況：現在、深刻な感染症等の流行は報告されていない。6 月～11 月は雨季となり高温多湿となるため、食品の保存や体調管理(虫刺され対策等)にも注意が必要。 交通事情：自動車やバイクが通行区分や規制を無視して道路に溢れている状況のため、非常に危険。道路を横断する際は、現地の学生と共に行動すること。
特記事項	・平成 24 年度から山形大学生および職員を派遣している。 ・本部前の池のほとりには、山形大学の記念樹が植えられている。 ・物価が安く、食事代は 1 食 80 円～300 円程度。
先輩からのメッセージ	・ベトナムに行って本当に良かったと思います。何よりベトナムで会ったみんなと楽しく 3 週間を過ごせたことが良かったです。迷っているなら、是非参加してほしいです！ ・オシャレなカフェもあり、ベトナム人学生の友達とよく行きました。今回で 2 回目となりますが、プライベートでも行きたいと思うくらいとても好きな国となりました。

大　学　名	**ガジャマダ大学** Universitas Gadjah Mada 通称　UGM（ウゲム） 
国　名	インドネシア共和国
都　市	ジョグジャカルタ
公　用　語	インドネシア語
ビ　ザ　情　報	30 日間以内の観光目的の滞在に限り，**不要**。 パスポートの残存有効期限６ヶ月以上，ビザ欄空白ページが十分あることが必要。
宿　泊　施　設	大学構内ホテル（ツインルーム）
費用の目安	航空券：　約 15.5 万円　～ 送迎費：　780 円　～　1300 円 宿泊費：　2 万円　～　3.9 万円 滞在費：　2.6 万円　～　7.8 万円
治安・衛生等現地状況	治安状況：旅行者を狙ったスリやひったくりが増えている。 衛生状況：通年 27～28 度の高温多湿の熱帯気候であり，10 月～3 月は雨季となり高温多湿となるため，食品の保存や体調管理(虫刺され対策等)にも注意が必要。 交通事情：道路が未整備な上に通行量が多い。2 人乗りのバイクが多く，マナーや交通規則を無視した運転車も多いため，外を歩く時には細心の注意を払うこと。
特　記　事　項	・平成 26 年度から山形大学生および職員を派遣している。 ・インドネシアのトップ大学。日本語力が非常に高い学生が多い。 ・農学部教員の中に，山形大学出身者もいる。 ・国民の 80%以上がイスラム教徒ということもあり，大学構内にもモスクが建てられている。 ・キャンパス内では服装について規定あり（襟付きのシャツ，長ズボン。ショートパンツ，ミニスカートは厳禁）。
先輩からのメッセージ	・みんなとても優しくしてくれたので，心配することは何もないと思います。本当に楽しい場所なので，不安に思うことなく過ごしてきてください。 ・日本語をとても上手に話せる学生も多く，英会話に自信がなくても楽しく過ごせます。 ・私は 2 週間を現地で過ごしましたが，2 週間はとても短く感じています。1 か月行けるのならば，1 か月行った方がいいです。 ・学生達は英語が堪能で，こちらの言いたいことを汲んでくれるので，恐れないでコミュニケーションを取ることが大切です。  

大　学　名	**新モンゴル学園** New Mongol Academy 通称　NMA 
国　名	モンゴル国
都　市	ウランバートル
公　用　語	モンゴル語（国家公用語），カザフ語
ビ　ザ　情　報	30 日以内の滞在の場合，出国する予約済みの航空券を持っていればビザは不要。 パスポートの残存有効期間：モンゴル到着時に 6 ヵ月以上あり，査証欄の余白が 2 ページ以上必要。
宿　泊　施　設	新モンゴル学園紹介施設
費用の目安	航空券：　約 11.2 万円　～ 送迎費：　2,600 円～3,300 円 宿泊費：　ホームステイ 2.6 万円～3.3 万円，ゲストハウス 3.3 万円～5.2 万円 滞在費：5.2 万円　～　7.8 万円
治安・衛生等現地状況	治安状況：ひったくりや強盗事件が増えている。ザハ（市場）やバスの中など人が多い場所ではスリの被害も多い。 衛生状況：冬期の石炭暖房による市街地の大気汚染が課題となっている。飲料水はペットボトルのものを購入。 交通事情：ウランバートルでは自動車の数が一気に増えたのにともない，交通事故も増加している。
特　記　事　項	・平成 29 年度後期から山形大学生及び職員を派遣している。 ・生徒は主に日本語を勉強している中高生（13 歳～18 歳）。 ・一年を通して晴れることが多い。冬は特に晴れるが，最も寒くなる 12 月～2 月は，平均最低気温が－25℃程度になる。 ・チベット仏教，イスラム教の他，シャーマニズムを信仰する人も多い。 ・内履き持参、教室内ではジーンズ、カジュアル過ぎる服装は控えること。
先輩からのメッセージ	・想像していたより、遙かにたくさんのことを経験できた。 ・初めて授業を経験し、教員を目指す気持ちを新たにした。 ・ホームステイでは、朝夕手づくりの料理を出してくれた。また、何かあるごとに大丈夫かと聞いてくれて、何の不自由もなく過ごすことができた。モンゴル人の人柄も知れた。 ・広い大地にたくさんの家畜がいて、ゲルがある。教科書で見た光景が広がっていて感動した。  